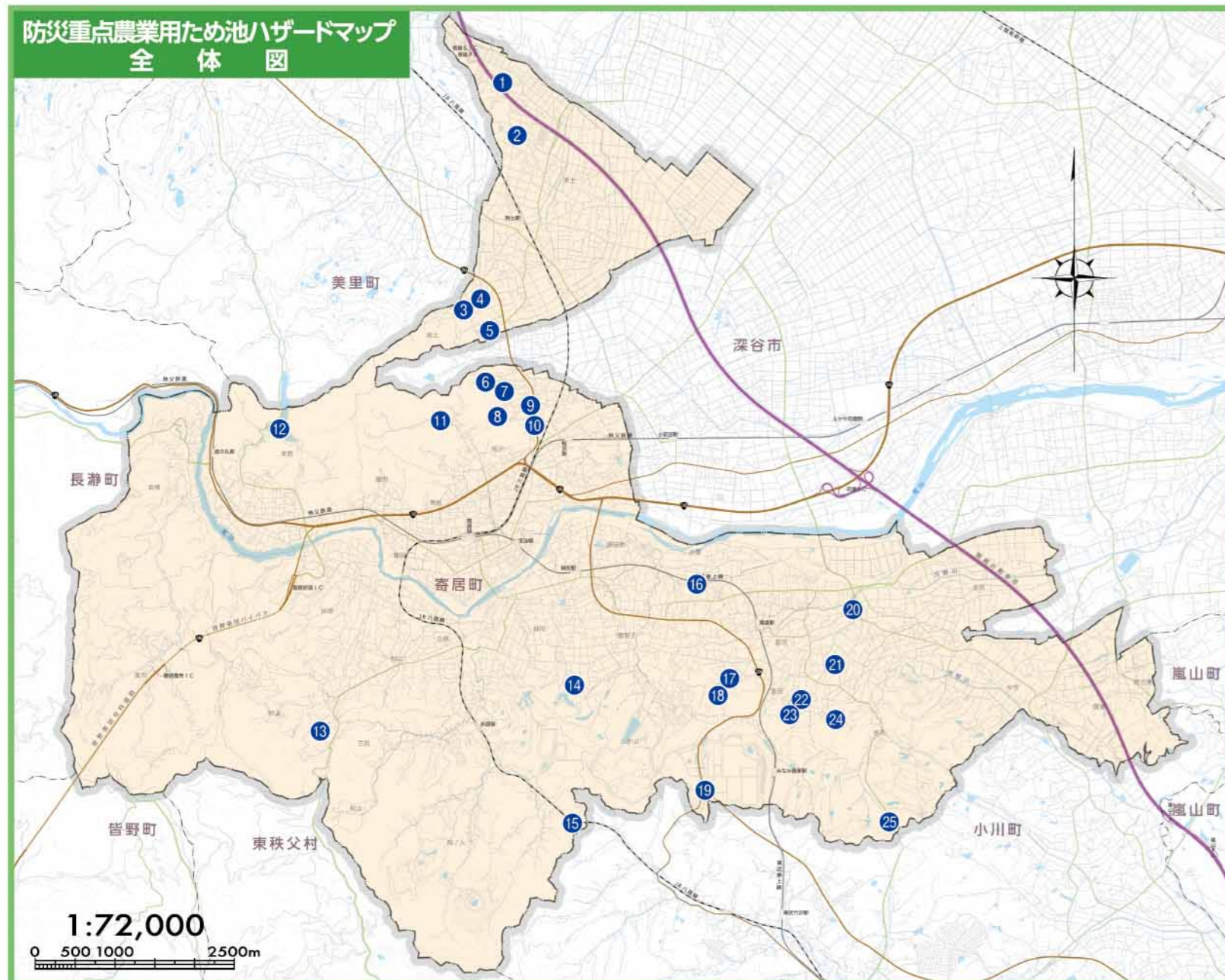


防災重点農業用ため池ハザードマップの見方

ため池ハザードマップとは

寄居町の農業用ため池 39カ所の内、防災重点農業用ため池である 25カ所について、ため池の浸水想定区域図を作成しました。迅速な避難や災害対応の基礎情報としてご活用ください。そして、地震発生時や豪雨時には、ため池には絶対に近づかないでください。

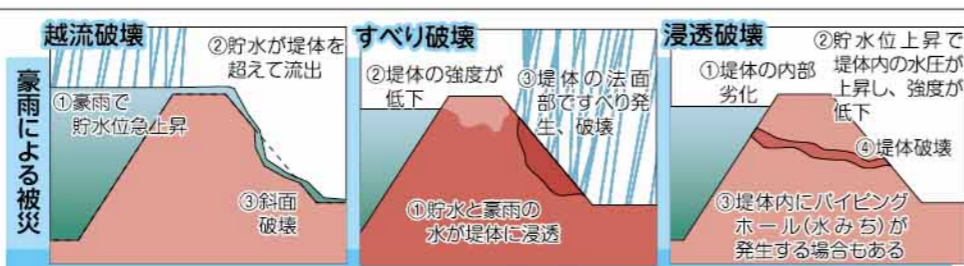


No. 防災重点農業用ため池名称

- | | | | | |
|---------|------------|----------|------------|------------|
| 1 猪久保池 | 6 南飯塚 1号池 | 11 大正池 | 16 小園用水池 | 21 丹波集水池 |
| 2 琵琶ヶ入池 | 7 南飯塚 2号池 | 12 円良田湖 | 17 根岸入池(下) | 22 福王寺池(下) |
| 3 北谷津池上 | 8 南飯塚 3号池 | 13 入山沼 | 18 根岸入池(上) | 23 福王寺池(上) |
| 4 北谷津池下 | 9 南飯塚 4号池 | 14 平林池 | 19 上六反田池 | 24 車沼池 |
| 5 前谷津池 | 10 南飯塚 5号池 | 15 梨子ノ木池 | 20 柏田溜池 | 25 広見沼 |

ため池の被災メカニズム

貯水や大雨が堤体の中に浸透し、水分量が増加することで堤体の強度が弱まります。また、貯水が堤体を越流すると、越流水によって堤体が浸食され、ため池が決壊することがあります。地震や豪雨によりこの状態が悪化することがあります。



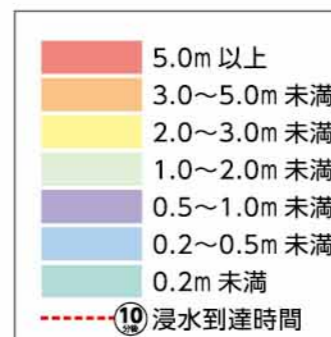
ため池ハザード情報

ため池浸水想定区域図

地震、豪雨等によりため池の堤体が満水時に決壊した場合の、浸水の深さや範囲を予想し、最大浸水を地図上に示したものです。※浸水の深さや範囲は、実際のため池の貯水量や堤体の被害程度、周囲の土地利用状況などにより異なる可能性もあります。

浸水深の想定と目安

浸水想定区域内の浸水の深さを色分けして地図上に表示しています。流速のある中で、浸水の深さが0.5m以上になると歩行が困難になることや、2階や屋根の上に避難することも考慮した色分けとなっています。最大水深が深い場所での浸水や避難が遅れたときを想定し、建物の2階以上への避難(垂直避難)も検討してください。



防災重点農業用ため池

平成30年7月豪雨を踏まえ見直しを行った新たな基準により、令和元年に都道府県が再選定を行ったもので、寄居町では25カ所のため池が指定されています。

防災重点農業用ため池の選定基準

- ①ため池から100m未満の浸水区域内に家屋、公共施設等があるもの
- ②ため池から100m以上500m未満の浸水区域内に家屋、公共施設等があり、かつ貯水量1,000m³以上のもの
- ③ため池から500m以上の浸水区域内に家屋、公共施設等があり、かつ貯水量5,000m³以上のもの
- ④上記①~③以外で、地形条件、家屋等の位置関係、維持管理の状況等から、都道府県又は市町村が必要と認めるもの

防災重点農業用ため池ハザードマップ(1)

